

【けいがん】「物事の本質を鋭く見抜く力」「将来を見通す能力」



ごあいさつ

令和6年が始まりました。

元日の夕方に最大震度7の「令和6年能登半島地震」が発生し、大変多くの被害がでております。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、この1月1日より浜松市では平成17年7月1日の合併後初の大きな変革点となる「行政区の再編」が行われ、私たちの住む地域は浜北区と北区の大部分が統合されて「浜名区」となりました。これまでの行政区からより広い行政区となることは、今後の行政の施策展開やサービス面で様々な変化が起こることが考えられます。

浜名区の西は愛知県との県境で東は天竜川とエリアが広く、森林地域から浜名湖沿岸地域、新都田などの工業地域、農業地域に加え、住宅街やショッピングタウンなど幅広い特性を持つ地域です。こうした特性と恵まれた豊かな資源を基盤に農林水産業から商工業、観光やサービスなど幅広い産業が集積しています。大きな行政区になることは、様々な地域の特色を融合させることにつながり、そのことによる化学反応や相乗効果がメリットとして期待できます。

行政における政策の決定は様々な面を考慮して行われますが、緊急性を除いた場合、大きな政策遂行の方向性として産業の育成・支援が挙げられます。産業を興



し成長させることは地域に雇用を生み、富を作ります。もちろんこの富は福祉や教育、インフラの整備に使うことにつながります。そしてほかの地域からの移住や定住を促進し消費を拡大させて地域経済を活性化させ、更なる新たな産業を生み出します。この好循環を地道にしっかりと作っていく施策を立案し実行することが市長や議員の仕事であり、今後私たちの住む浜名区をより豊かに発展させていくことにつながっていくと考えています。

市町村合併や行政区画の再編はこれまで何度も行われてきました。今から68年前、1956年には5つの村が集まり浜北町が誕生しました。それまではあら玉地区が引佐郡の一部であったなど、古くからこの地域が同じ行政圏・経済圏として密接につながっていたことがわかります。「故きを温ねて新しきを知る」と申します。浜名区の今日に至る行政区の歴史や経過をこの機会にたどるのも興味深いと思います。

より豊かな未来を！！

静岡県議会議員

市川秀之



コラム

「浜名湖花博2024」が始まります!

皆様は、2004年にしづおか国際園芸博覧会「パシフィックフローラ2004」として開催された「浜名湖花博」を覚えていますか？「第21回全国都市緑化しづおかフェア」と同時開催されたこともあり、4月8日から10月11日までの約半年（187日間）で544万人もの来場者を浜名湖ガーデンパークに集めました。名誉総裁を秋篠宮文仁親王が務められ、国際的な行事として大いに盛り上がりました。それから10年後の2014年には浜名湖花博10周年記念事業として「浜名湖花博2014」が浜名湖ガーデンパークとはままつフラワーパークの2会場にて87日間開催され、両会場で129万人が訪れました。



今回の「浜名湖花博2024」は浜名湖花博20周年記念事業と位置づけ、10周年記念事業と同様に浜名湖ガーデンパークとはままつフラワーパークの2会場にて開催されます。浜名湖ガーデンパークは4月6日から6月2日までの約2か月（58日間）、はままつフラワーパークでは3月23日から6月16日までの約3か月（86日間）の会期で、両会場で延べ95万人の集客を目指として開催します。「浜名湖花博2024」は、「花・緑・水との調和がとれたランドスケープ」に先端テクノロジーを融合させることで、「心豊かな暮らし」と「持続可能な環境・社会・経済」、さらに「地域発の産業革新」を体感していただくことをテーマに開催されます。つまり花や緑と人を先端技術でつなぐことによって、より豊かな新しい暮らし方を目指すというものです。



ネモフィラ（浜名湖ガーデンパーク）

入場料
コンビニエンスストア各社、浜松駅構内の浜松市観光インフォメーションセンター等で販売中！

入場券の種類	区分	GP会場		FP会場		備考
		前売	当日	前売	当日	
普通入場券	大人	600	800	700	1,000	1回入場可
	小中学生	300	400	350	500	
セット入場券 (GP/FP共通)	大人	1,200	1,700	同左		両会場に1回ずつ入場可
	小中学生	600	850			
期間パスポート	大人	2,400	3,200	GP会場に何回でも入場可		
	小中学生	1,200	1,600			

※GP=浜名湖ガーデンパーク・FP=ままつフラワーパーク

※ままつフラワーパークは期間パスポートの設定はありませんが、同パークで販売している年間パスポートで入場できます。



ツツジ(浜名湖ガーデンパーク)

花博の最大の目的は「花卉産業の振興」でありますから、本県特産のマーガレットなどをふんだんに配置したフラワーガーデン、同じく特産のガーベラやバラを豊富に用いた切花アレンジに加え、絵画のような印象派庭園や水辺の空間を生かした記念庭園などたくさんの見所があります。今回はそのような伝統的な花や緑の展示に加え、体感型のデジタルアート（没入型アートミュージアム）やスマートモビリティ（自動運転車などの試乗）なども体験できます。また、全国トップレベルなのは花だけではありません。**食材の大國としても名高い静岡県**ですので、園内での食事も特別メニューを用意して皆様をお待ちしているとのことです。



花の美術館(浜名湖ガーデンパーク)

会場へのアクセスとして今回おもしろいのは**舟運**です。海湖館（今切口西）・浜名港（新居町駅東）・弁天島の湖畔3ヶ所と浜名湖ガーデンパークの会場を船でつなぎます。穏やかな湖上を**片道20分から25分**で行く春の船旅は爽快で、また渋滞がないのでとても快適です。



はままつフラワーパーク会場も吉谷桂子氏監修の没入体験型の庭「フラワーフォレスト」や浜松市出身の小倉珠子氏監修のサスティナブルガーデン「はなのはら」をはじめ個性や魅力あふれる多くの特別展示を実施します。正面ゲートから入るとすぐにウェルカムガーデンステージが広がり、その先の噴水池での国内最大級の大噴水ショー「ウォータースクリーン」は今からとても楽しみです。



「浜名湖花博2024」は、県西部地域の観光や特産品の販売などにも大きな経済効果が期待できます。私は今年度産業委員会委員長として、企画や会場準備など多くの事項に関わってまいりました。地元浜松市を中心に静岡県全体の事業としてこのイベントを大いに盛り上げていくためにも、浜名区の皆様にはぜひ足を運んでいただきたいと思います。



藤ライトアップ(はままつフラワーパーク)



バラの門(はままつフラワーパーク)



桜と虹のチューリップ(はままつフラワーパーク)

Topics 1

産業振興の支援

浜名区には県の行政組織として(今回紹介する)「森林・林業研究センター(根堅)」とVol.10で紹介した「浜松工業技術支援センター(新都田)」があります。ともに県の試験研究機関として技術面を中心に企業や事業体を支援することを目的に設置された機関ですが、他機関の紹介を含め幅広い課題の相談に対応しています。起業や新規事業、技術開発などを検討されている方は是非一度訪ねてみてください。



森林・林業研究センター



浜松工業技術支援センター

Topics 2

リニア新幹線と
三遠南信自動車道

浜名区の将来を考えると、現在の県政の大きな課題であるリニア中央新幹線と三遠南信自動車道の整備は重要なテーマと考えます。と申しますのも、リニア長野駅(飯田市)と三遠南信自動車道が結ばれると人や物の流れによる経済効果とともに、医療や災害時等の緊急輸送において大きな効果が期待できるからです。大井川の水問題や南アルプスの保全とともに積極的に議論に参加していただけたらと思います。



県議会報告 9月議会で一般質問に立ちました。

① 有徳の人づくりについて

Q (1)社会総がかりの人づくり

今後部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行が進めらるっていくが、優れた指導者の育成・確保など社会総がかりの人づくりにどう取り組んでいくのか。

A 一流アスリートの指導を受ける機会の提供や外部人材を活用した部活動指導員の配置、文化芸術分野でのSPACによる専門性の高い指導を行っており、本年度から陸上の飯塚翔太氏に「人づくり・学校づくり」実践委員会の委員に御就任いただき、飯塚氏の豊富な実績や知見を本県の教育施策に生かしていく。

Q (2)教育現場における生成AIの利用

県教育委員会は飛躍的なスピードで進展する生成AIと教育現場でどう向き合っていくのか。

A 思考力や判断力、表現力の育成を阻害しないよう注意しながら、生成AIを効果的に活用する力を育むことで、AI時代においても自ら積極的に未来を切り拓いていく「有徳の人」の育成を進めていく。

② 県職員の人材確保について

Q 優秀な人材の確保は、県の発展と県民福祉の向上に不可欠であるが、県職員の人材確保に向けた戦略と具体的な対応策は。

A 早期試験や職務経験者試験の拡充、技術職種の試験内容の見直し、応募手続のオンライン化など試験制度の改善とともに、若い世代の職員を活用して対話を重視した広報を実施し、人材の確保に取り組んでいく。

③ カーボンクレジット制度の普及に向けた支援について

Q 脱炭素社会の実現のため二酸化炭素排出量に値付けをして取り引きをするカーボンクレジットが注目されているが県はどう取り組んでいくのか。

A 水産分野の榛南海域における藻場再生活動、森林分野の下田市の県営林プロジェクト、農業分野の水稻栽培における中干し期間の延長によるクレジット申請、企業等と連携した太陽光発電設備による二酸化炭素削減活動をまとめてクレジット化する取組等を進めており、今後も全ての産業分野におけるクレジット創出の取組を後押ししていく。



にせろによん

④ 浜名湖花博2024における本県花卉の生産振興、消費拡大に向けた取組について

Q 来場者に本県花卉の素晴らしさをPRし、消費の拡大につながるような産地で行う花のイベントならではの企画を検討したらどうか。

A 県内の生産者が生産した苗で広大な浜名湖ガーデンパーク会場を花や緑で華やかに彩るとともに全国規模の品評会で受賞経験のある生産者とフラワーデザイナーが連携した創作展示を行うなど、本県の多彩な花卉の魅力を県内外に発信し、生産振興と消費拡大につなげることで本県花卉産業の持続的な発展を実現していく。

⑤ 馬込川上流部の治水対策について

Q 浜北区は台風や前線に伴う発達した積乱雲がもたらす豪雨によりこの1年間で4回も大規模な浸水の被害が発生しており、「河川の対策は下流域から」という原則に縛られず、近年の流域治水の考え方である「流域全体で水を受け止めて水害を減らす」ことも検討すべきと考えるが県の対策は。

A 馬込川では、下流部の河床掘削などによる河川改修を集中的に実施するとともに、上中流部では、断面狭小部の局所的な改良や堆積土砂の撤去などの治水対策を進めているが、馬込川上流部は度重なる豪雨に見舞われ、浸水被害が頻発している。このため、下流からの河川改修を待つことなく被害軽減が期待できる対策を優先して実施する必要があり、流域一体となったハード・ソフト対策を迅速かつ確実に実施していく。

具体的には、堤防からの越水発生箇所の下流に当たる矢矧橋周辺の河床掘削や河道内の樹木の伐採、流下能力が著しく低い雷神橋から五反田川合流点までの区間の河道改修などを実施していく。また、浜松市と連携し、校庭を活用した雨水貯留浸透施設の整備などの流域対策にも早急に取り組んでいく。

Topics3

身边な県の機関

森林・林業研究センター

(浜名区根堅2542-8)

樹木は私たちにとって一番身近な存在であり、古よりさまざまに形を変えて人々の暮らしの中に溶け込んでいます。材木や燃料としてだけでなく、果樹や花、樹液は天然ゴムになるものもあります。樹木や森林の研究は世界各国、それぞれの気候や分布に合わせて行われており、「マレーシア森林研究所」などは大変有名です。もちろん静岡県でも県内に生育する樹木を中心に、森林の保全や林業の発展のため日々研究が行われています。今回のトピックスでは浜名区にある県の機関「森林・林業研究センター」を紹介いたします。



森林・林業研究センターは、国道152号(二俣街道)を杏林堂薬局から西へ100mほど進んだ三叉路(左に案内標識あり、右は加藤鉄工所さん)を北へ曲がった小高い丘の上に立地しています。国道から住宅地を200mほど進むと石材の門柱が左右に設置されており、ここから敷地内へ進入します。木々に囲まれた細く曲がった道をカーブに沿って進むと、明るく開けてきて3本のセンペルセコイヤやメタセコイヤ等の巨木が出迎えてくれます。



森林・林業研究センターは、昭和32年に「林業試験場」として設立され、昭和63年には「林業技術センター」として再発足し、内装に県産材をふんだんに活用した建物へと一新されました。平成19年の県の大規模な組織改正において現在の名称になりました。私たちの生活の中で最も馴染み深いのがスギ花粉の飛散予測だと思います。今年の予測は「平年並み」ということですが、動画(Youtube)による若手研究員の説明(緊急記者会見)は微笑ましくとてもわかりやすいので是非、視聴してください。

現在22人の職員が勤務しており、森林・林業に関する様々な研究や技術相談業務を行っています。花粉症対策品種に関する調査研究や静岡県産シイタケ等の付加価値向上技術の開発、二酸化炭素吸収と収益性の両面に優れた樹種による経営モデルの開発など健康や環境への対応を含め森林・林業業界の持続可能な発展を実現するための研究開発を行っています。また、シカやイノシシ、ノウサギなどの野生動物に

による農林業被害を軽減するための調査研究も行っています。木材の強度試験や含水率試験などの材質試験のほか、林木種子の発芽率検定など企業等からの依頼により試験を行うとともに技術相談に応じています。



敷地内には、国内外の約1,000種・1万本の樹木が植栽されており、年間を通じて見学可能となっており、四季折々の自然を楽しむことができます。また、「森の科学館」(ドングリホール、入場無料)では、森林の働きや木材の性質などをわかりやすく解説したパネルやツキノワグマやイノシシ、タヌキなど動物の剥製を展示しており、どなたにも楽しみながら学んでいただけます。森林・林業関係の方はもちろん、一般の皆様も是非一度訪れてみてください。

静岡県議会議員

市川秀之

プロフィール

昭和41年11月20日生まれ
家族構成:妻・2男1女
趣味:ゴルフ・カメラ・文化芸術鑑賞
静岡県立浜名高校 卒業
日本大学経済学部 卒業
市川産業(株) 入社 現 代表取締役
学校法人北浜学園 北浜幼稚園 理事
平成18年度 (社)浜北青年会議所 理事長
平成19年度 浜松市伎倉小学校 PTA会長
平成21~24年度 浜松市PTA連絡協議会 副会長
令和元年 静岡県議会議員当選(1期目)
令和元年度 文教警察委員会 委員
令和2年度 文化観光委員会 委員
令和3年度 建設委員会 副委員長
議会運営委員会 委員
令和4年度 総務委員会 副委員長
移住・定住等促進特別委員会 委員
令和5年 静岡県議会議員当選(2期目)
令和5年度 産業委員会 委員長



おかげさまで、この県政報告「ひでゆき通信 INSIGHT～慧眼～」も Vol.12となりました。

バックナンバー(Vol.1~Vol.11)をご希望の方は 市川秀之事務所までご連絡いただければお届けします。

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[市川秀之事務所]
〒434-0013 静岡県浜松市浜名区永島577
TEL053-443-8700 FAX053-443-8703

[静岡県議会 自民改革会議 控室]
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
TEL054-221-2566 FAX054-221-3379

<http://www.ichi-hide.com/index.php>
[E-mail] hide-ichikawa@mth.biglobe.ne.jp

